

RAILWAY JOURNAL 鉄道ジャーナル

1977・5 NO.123 Vol.11 NO.5

●昭和52年3月20日印刷

●昭和52年5月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



かつて鉄道の“車両基地”といえば機関区であった。たくましく黒光りした‘くろがねの馬’——蒸気機関車たちがたむろし 昼夜をわかつた黒煙が空をおおっていた。構内の土は油でべたつき 顔や服は煤煙で黒くなった。

いま 各地の車両基地にはスマートでカラフルな電車や気動車 たくましさとしさをかね備えた電気・ディーゼル機関車が 静かに憩っている。動力近代化にともなう日本国鉄では動力分散方式が旅客列車の主流となったためこれらの車両基地も‘機関区’から各種動力車を総合収容する‘運転所’や‘運転区’へと発展した。近代化に並行して合理化も進み そこで働く職員たちの気質も昔とは変わってきている。激しい時代の流れのなかに 鉄道も大きな変貌をとげたのである。

この5月に予定されている〈オリエント急行〉の廃止も 新時代に脱皮する鉄道の一つの姿といえよう。豪華さや伝統が世界の鉄道から次々と消えてゆくのはさびしいが いたずらに過去の残影をなつかしむだけでなく 現在の鉄道をより良いものに育ててゆく努力を忘れてはならない。

定価530円 千60円

1977-5 もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 国鉄の土地活用に期待
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・民鉄・海外鉄道の動き)
- 14 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)

特集●花の“車両基地”

- 15 向日町運転所24時間 宮原正和／RGG
- 34 車両基地ものがたり 種村直樹
- 42 国鉄車両基地一覧 編集部
- 48 京急・金沢検車区の素顔 塚本雅啓／沖 勝則

ドキュメント★列車追跡(15)

- 51 飯田線196^{キロ}・94駅・428分の旅 小野純一

レールウェイ・ワイド・トピックス

- 61 1. 西武新宿線に2000系がデビュー 尾崎昇司
- 66 2. 国鉄キハ47形試運転 編集部
- 71 3. おもいで‘玉電’ 佐々木桔梗
- 72 3. 東急新玉川線 4月に開通 編集部
- 73 4. 神戸市交通局西神線が開業 神戸市交通局高速鉄道部
- 74 5. 名古屋市地下鉄鶴舞線が開通 田川輝紀
- 76 6. 東急5000系→長電2500系 信濃路で活躍開始 小林宇一郎
- 77 7. 伸びゆく大阪の地下鉄 編集部
- 82 8. 尾小屋鉄道の最期 牧野正彦
- 83 9. 完成まじかの国鉄浮上式鉄道実験線 編集部
- 87

★特別企画★

- 96 栄光と伝説の名列車 オリエント急行 山之内秀一郎
- 88 車両とともに30年(5) 田邊幸夫
- 107 トップ・アングル
- 111 レールファン・ノートから㊹ 写真と地図の整理 本島三良
- 119 青木槐三氏を偲ぶ 本島三良
- ライバル決戦(完)
- 120 君よ知るや南のレーサーたち(後-2) 野村 董
- 124 機関車意外誌●謎の機関車を追って(後) 小熊米雄

ブルー・トレイン

- ◆ワイドレンズ(112)◆映画「キートンの大列車追跡」/鉄道友の会だより(113)
- ◆魚眼/ズームレンズ(114)◆新聞記事ざっくばらん/伝言板(115)◆タブレット(116)◆読者論壇(117)◆RJクイズ/こちらジャーナル編集部/乗務員室/次号予告(118)

特別付録 形式図 西武鉄道2000系／神戸市交通局1000系
(P67～70折込)

表紙写真／門出を待つ〈雷鳥〉と〈明星〉(向日町運転所で)

カメラ・荒川好夫